



事業報告シート

事業分野	—もの・まち・くらし・その他	登録日	
事業名称	平成22年度 全道青年連絡会議		
開催日時	平成22年 3月27日(土) 14:00~18:15	会場	札幌 かでの27
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんかい		
活動団体名	北海道建築士会 青年委員会		
事業の目的	1. 全道青年委員会連絡会議 平成21年度事業報告及び決算報告・平成22年度事業計画及び予算説明 2. 研修会「交渉力とコミュニケーション」～クレームを宝として信頼関係を築く～と題し業務を行う上で必要な交渉力とビジネスコミュニケーションを学び、実際に起きたクレームについてパネルディスカッションで討議する		
主な事業内容	講演 交渉は自分と相手が協働してお互いにWin・Winになるのがベストで、そのためにはコミュニケーションが必要です お互いは違った体験(経験)があり、お互いの思い(考え、価値観、判断基準、信念、主義等)は伝わりやすく、また以外と気付いていないのは「つもり」で、お互いの話の内容を正しく理解できたか不明のまま作業を進めていないか? また交渉におけるコミュニケーションスキルは「引き出す」相手から情報を引き出す、「伝える」相手に自分の考えを伝える、「合意形成」人間関係を重視し、共通点を強調することが必要となります。 お互いが満足して仕事をするためには、相手の行動特性とコミュニケーションのとり方を知り、知識そのものではなく、人と人の関係を発展させことで交渉力は高まります。人間は得をすれば満足し、人から認められれば嬉しいし、自己尊重されることに大きく動機づけられます。 パネルディスカッション パネラーが体験したクレームを聞き討議することで参加者のスキルとすることが目的。仲介者がある業務で、施主と十分コミュニケーションを取れなかったり、仲介者と施主がコミュニケーション取れているつもりが取れていない、施主と理解し合えたつもりで任されていたが竣工してからのクレームが多い、設計者・施工者の対応の違い等による施主の不信感を抱かせるなど、「つもり」で作業していたことが多いことが分かりました、今後講習して頂いた内容を理解し実践して施主・設計者・施工者の3者が協働することでクレームを減らしていきける		
事業収支	各支部1名分交通費 260,000 会場費等 35,000 講師謝礼・交通費 35,000 合計 330,000		
参加者	本部	青年建築士	合計
	3名	68名	71名
建築士の関り	建築は施主・建築士・施工者の3者で創り上げるもので建築士がコミュニケーションスキルを上げ、相手から情報を引き出し、自分の思いを伝えお互いの立場を重視して共通点を強調し、建築を創り上げていかなければいけない		
今後の検討課題	会員同士で情報を交換・討議を行うことで自分の業務以外でのスキル向上につなげていき、今後もこのような士会員にメリットのある活動を行うことで建築士会会員の減少を食い止め、会員増強につなげていきたい。		
連携・協力組織等	講師(株)クリエイティブ・マネージメント 代表取締役 町口 正人氏		
活動状況写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
■ 町口氏の講演		■ PD風景	
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんちよう かんだみつひで	TEL/FAX	011-251-6076 / 011-222-0924
事業代表者氏名	北海道建築士会 青年委員長 神田光英	E-mail	info@h-ab.com
団体所在地	北海道札幌市中央区大通西5丁目11番地	URL	http://www.h-ab.net/